

3.2. 常設展

3.2.1. 第1期常設展

平成17年4月19日（火）～6月26日（日）

（常設展示室2 前期：5月22日（日）まで、後期：5月24日（火）より）

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 高山辰雄—移ろいゆく時の中で—

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	高山 辰雄	立春	1937(昭和12)	42.8×56.8	絹本着色	
2	高山 辰雄	沼にうつる	1955(昭和30)	48.5×72.6	紙本着色	
3	高山 辰雄	風景	1950(昭和25)頃	38.4×61.0	紙本着色	
4	高山 辰雄	夕	1951(昭和26)	69.5×87.8	絹本着色	
5	高山 辰雄	雪	1954(昭和29)	66.0×87.5	絹本着色	
6	高山 辰雄	夕	1955(昭和30)	64.5×93.7	紙本着色	
7	高山 辰雄	山の音	1958(昭和33)	60.5×92.4	紙本着色	
8	高山 辰雄	青い空	1957(昭和32)	41.2×57.9	紙本着色	
9	高山 辰雄	山	1959(昭和34)	43.4×57.0	紙本着色	
10	高山 辰雄	道	1961(昭和36)	45.5×60.6	紙本着色	
11	高山 辰雄	青の夜	1961(昭和36)	38.0×55.0	紙本着色	
12	高山 辰雄	明けゆく	1962(昭和37)	55.5×76.5	紙本着色	
13	高山 辰雄	夜明け	1965(昭和40)	41.0×53.0	紙本着色	
14	高山 辰雄	椅子に	1990(平成2)	116.0×87.5	絹本着色	
15	高山 辰雄	燈	1985(昭和60)	211.5×139.5	紙本着色	
16	高山 辰雄	新雪	1992(平成4)	224.0×160.0	紙本着色	
17	高山 辰雄	少女	1992(平成4)	100.0×75.5	紙本着色	
18	高山 辰雄	赤い服の女	1950(昭和25)	122.2×75.0	絹本着色	
19	高山 辰雄	襟巻	1949(昭和24)	51.2×59.0	絹本着色	
20	高山 辰雄	赤いセーター	1952(昭和27)	70.5×57.1	絹本着色	
21	高山 辰雄	黒いもんぺ	1944(昭和19)	174.2×70.6	紙本着色	
22	高山 辰雄	由紀子立像	1945(昭和20)	79.4×52.0	紙本着色	
23	高山 辰雄	壺	1943(昭和18)	129.9×75.9	紙本着色	
24	高山 辰雄	黒い服の少女	1948(昭和23)	57.5×53.5	絹本着色	
25	高山 辰雄	子	1950(昭和25)	103.1×75.4	絹本着色	
26	高山 辰雄	赤い服の女	1950(昭和25)	49.4×57.6	絹本着色	
27	高山 辰雄	紫陽花の頃	1941(昭和16)	125.0×41.0	絹本着色	
28	高山 辰雄	朱樂	1952(昭和27)	70.5×57.1	絹本着色	
29	高山 辰雄	白鷺	1939(昭和14)頃	各167.7×371.4	紙本着色	
30	高山 辰雄	雲煙に飛翔	2001(平成13)	174.2×727.2	紙本金砂子墨画	
31	高山 辰雄	猫と玉葱	1957(昭和32)	55.6×77.1	紙本着色	
32	高山 辰雄	緑の野に	1952(昭和27)	59.5×71.3	絹本着色	
33	高山 辰雄	瓜図	1952(昭和27)	51.5×70.0	絹本着色	
34	高山 辰雄	鶉	1955(昭和30)	67.0×92.5	紙本着色	
35	高山 辰雄	日月星辰2001 I	2001(平成13)	26.1×32.1	エッチング	
36	高山 辰雄	日月星辰2001 II	2001(平成13)	26.1×32.6	エッチング	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
37	高山 辰雄	日月星辰2001 III	2001(平成13)	26.1×32.1	エッチング	
38	高山 辰雄	日月星辰2001 IV	2001(平成13)	26.1×32.0	エッチング	
39	高山 辰雄	日月星辰2001 V	2001(平成13)	25.4×32.3	エッチング	
40	高山 辰雄	日月星辰2001 VI	2001(平成13)	26.1×32.0	エッチング	
41	高山 辰雄	日月星辰2001 VII	2001(平成13)	32.2×26.2	エッチング	
42	高山 辰雄	日月星辰2001 VIII	2001(平成13)	32.0×26.0	エッチング	
43	高山 辰雄	日月星辰2001 IX	2001(平成13)	29.7×22.8	エッチング	
44	高山 辰雄	日月星辰2001 X	2001(平成13)	31.9×25.9	エッチング	
45	高山 辰雄	雨	2003(平成15)	200.0×140.0	紙本着色	

【高山辰雄記念室】

1	高山 辰雄	源氏物語 序	1982(昭和57)	53.5×37.2	リトグラフ	
2	高山 辰雄	源氏物語 空蝉	1982(昭和57)	55.5×38.5	リトグラフ	
3	高山 辰雄	源氏物語 夕顔	1982(昭和57)	56.0×38.5	リトグラフ	
4	高山 辰雄	源氏物語 紅葉賀	1982(昭和57)	58.5×38.5	リトグラフ	
5	高山 辰雄	源氏物語 篝火	1982(昭和57)	55.3×38.3	リトグラフ	
6	高山 辰雄	源氏物語 若菜	1982(昭和57)	55.3×38.0	リトグラフ	
7	高山 辰雄	源氏物語 橋姫	1982(昭和57)	55.0×37.5	リトグラフ	
8	高山 辰雄	源氏物語 宿木	1982(昭和57)	54.5×37.2	リトグラフ	
9	高山 辰雄	源氏物語 浮舟	1982(昭和57)	54.5×37.8	リトグラフ	
10	高山 辰雄	丘の上	1973(昭和48)	134.0×215.0	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・文人画 富春館記念室

テーマ 帆足杏雨とその周辺 (前期)

1	帆足杏雨	四時花鳥図巻	1830(天保元)	18.3×148.0	紙本墨画淡彩	
2	帆足杏雨	風雨赴約図	1837(天保8)頃	143.1×51.7	紙本墨画淡彩	
3	帆足杏雨	松陰自適図	1837(天保8)頃	143.3×52.0	紙本墨画淡彩	
4	帆足杏雨	淡彩山水図	1837(天保8)頃	139.8×37.4	紙本墨画淡彩	
5	帆足杏雨	秋景山水図	天保年間	128.0×59.2	紙本淡彩	
6	帆足杏雨	松下納涼図	1840(天保11)	142.0×56.4	絹本墨画淡彩	
7	帆足杏雨	老圃秋容図	1848(嘉永元)	154.8×57.2	絹本墨画着色	
8	帆足杏雨	李青蓮詩意山水図	1854(嘉永7)	154.9×57.2	絹本墨画淡彩	
9	帆足杏雨	風雨渡江図	1852(嘉永5)	122.6×57.1	絹本墨画淡彩	
10	帆足杏雨	松梅菊書画貼交屏風	1864(元治元)	各隻141.6×326.6	紙本墨画・紙本墨書	
11	高橋草坪	山水妙清図	文政後期	110.0×26.8	紙本墨画	寄託品
12	田能村竹田	伏水望京図	1823(文政6)	107.2×26.4	紙本墨画淡彩	
13	田能村竹田	溪莊趁約図	1828(文政11)	118.5×42.5	絹本墨画	重文
14	田能村如仙	無腸公子図	不詳	127.0×30.5	紙本墨画	
15	平野五岳	松林山水図	1861(文久元)	127.7×41.9	絹本墨画淡彩	

テーマ 田能村直入を中心に (後期)

1	田能村直入	花卉図(六幅対)	1833(天保4)	各107.5×31.0	紙本着色	
2	田能村直入	柳崖瀛洲図	1838(天保9)	35.6×100.9	紙本墨画・紙本墨書	寄託品

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
3	田能村直入	四季山水図(四幅対)	1884(明治17)	各196.5×84.8	絹本着色	
4	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代	114.5×36.8	絹本着色	
5	田近竹邨	桐陰遺興図	1917(大正6)	170.5×52.0	絹本着色	
6	田近竹邨	松林飛鶴図	1896(明治29)	128.0×42.5	絹本淡彩	
7	田能村竹田	漁樵問答図	1834(天保5)	128.5×50.3	絹本淡彩	重文
8	帆足杏雨他	山水図(対幅)	1875(明治8)	18.1×12.5他	紙本箔押墨画	
9	後藤碩田	晚江帰棹図	不詳	130.0×30.0	紙本墨画	

■常設展示室3 近代・現代の洋画・版画

テーマ 現代美術の表現ー反復するかたちー

1	神田千里	連鎖する形	1982(昭和57)	112.1 × 145.5	油彩、キャンバス	
2	油野誠一	デソリヤの街	1953(昭和28)	181.8 × 259.1	油彩、キャンバス	
3	廣瀬通秀	モニュメント	1980(昭和55)	181.8 × 227.3	油彩、キャンバス	
4	白根光夫	繚乱吉野山図	1990(平成2)	各隻175.0×380.0	油彩、板	
5	草間彌生	生命への畏敬	1989(平成元)	194.0×390.0	アクリル、キャンバス	
6	草間彌生	ACCRETION (No.3)	1964(昭和39)	110.0×70.0	コラージュ	
7	糸園和三郎	鳥の壁	1963(昭和38)	72.7×60.6	油彩、キャンバス	
8	岸本清子	夜(日本の花シリーズ・山桜)	1984(昭和59)	183.0×183.0	アクリル、板	
9	宮脇愛子	作品	1962(昭和37)	163.0×121.0	油彩、キャンバス	
10	宮脇愛子	作品	1963(昭和38)	181.0×120.5	油彩、キャンバス	
11	大塚雄造	波 J-77	1991(平成3)	165.0×300.0	アクリル、キャンバス	
12	江藤 明	MY SPACE	1981(昭和56)	194.0 × 194.0	油彩、キャンバス	
13	佐藤 敬	凝結波	1966(昭和41)	195.0×130.0	油彩、キャンバス	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 祥雲齋・真竹と黒竹

1	生野祥雲齋	無双編盛籃	1963(昭和38)頃	高 9 径30	竹	
2	生野祥雲齋	乱菊	1964(昭和39)	133.5×285×50	竹・籐	
3	生野祥雲齋	久寿玉	1964(昭和39)	高43 径63	竹	
4	生野祥雲齋	竹筥	1964(昭和39)	高15 32×32	竹・籐	
5	生野祥雲齋	紫竹盛籃 此君	1965(昭和40)代	高16 40×26.4	竹・籐	
6	生野祥雲齋	はなころも	1965(昭和40)頃	高28.3径 9	竹	
7	生野祥雲齋	花衣	1965(昭和40)頃	高28.8径 8.6	竹	
8	生野祥雲齋	紫竹盛華籃	1965(昭和40)頃	高27.2 30×62	竹	
9	生野祥雲齋	白竹投入華籃	1965(昭和40)頃	高41 径16.5	竹・籐	

3.2.2. 第2期常設展

平成17年9月27日（火）～12月27日（火）

（常設展示室2のみ 前期：11月13日（日）まで 。後期：11月15日（火）から）

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 戦後の日本画 正井和行・岩澤重夫・箱崎睦昌

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	正井 和行	魼	1971(昭和46)	161.0×220.0	紙本着色	
2	正井 和行	発掘	1992(平成4)	190.0×160.0	紙本着色	
3	正井 和行	憶昔	1992(平成4)	65.2×90.9	紙本着色	
4	岩澤 重夫	輝やく峰	1998(平成10)	218.0×144.0	紙本着色	
5	岩澤 重夫	郷	1987(昭和62)	191.0×180.0	紙本着色	
6	岩澤 重夫	響	1988(昭和63)	191.0×168.0	紙本着色	
7	岩澤 重夫	由布岳	制作年不詳	65.0×91.0	紙本着色	
8	後藤 純男	北国山頂	1963(昭和38)頃	72.8×91.0	紙本着色	
9	箱崎 睦昌	潮声	1991(平成3)	180.0×540.0	紙本着色	
10	白井 進	山への道	1990(平成2)	65.2×90.9	紙本着色	
11	八田 哲	平戸城暮色	1990(平成2)	53.0×72.8	紙本着色	
12	箱崎 睦昌	桜島	1988(昭和63)	210.0×560.0	紙本着色	
13	箱崎 睦昌	蔓	1985(昭和60)	145.5×224.5	紙本着色	
14	箱崎 睦昌	冬山	1984(昭和59)	182.0×195.0	紙本着色	
15~22	畠中 光享	釈尊十大弟子	1984(昭和59)	各190.0×95.0	紙本着色	10面の内、8面
23	畠中 光享	林住禅定	2003(平成15)	171.5×464.0	絹本墨画／裏箔	
24	藁谷 実	赤褐色の廃屋	1992(平成4)	182.0×227.0	紙本着色	
25	高山 辰雄	春の浅い日（紹興）	1992(平成4)	36.5×55.0	リトグラフ	
26	高山 辰雄	おひるどき	1994(平成6)	51.0×67.0	リトグラフ	
27	高山 辰雄	聖家族 X	1976(昭和51)	25.8×34.2	エッチング	
28	高山 辰雄	聖家族 XI	1976(昭和51)	28.8×35.8	エッチング	
29	高山 辰雄	聖家族 XII	1976(昭和51)	23.8×32.8	エッチング	
30	高山 辰雄	聖家族 XIII	1976(昭和51)	29.7×36.4	エッチング	
31	高山 辰雄	聖家族 XIV	1976(昭和51)	23.3×32.3	エッチング	
32	高山 辰雄	聖家族 XV	1976(昭和51)	23.8×32.5	エッチング	
33	高山 辰雄	聖家族 XVI	1976(昭和51)	26.3×34.5	エッチング	
34	福田平八郎	紅鳶	制作年不詳	106.0×27.0	紙本着色	
35	福田平八郎	白梅鶯	制作年不詳	130.7×30.8	紙本着色	
36	福田平八郎	鮎	制作年不詳	26.2×23.6	紙本着色	

【高山辰雄記念室】

1	高山 辰雄	聖家族 I	1976(昭和51)	14.7×18.0	エッチング	
2	高山 辰雄	聖家族 II	1976(昭和51)	32.6×23.5	エッチング	
3	高山 辰雄	聖家族 III	1976(昭和51)	36.0×29.0	エッチング	
4	高山 辰雄	聖家族 IV	1976(昭和51)	36.0×29.5	エッチング	
5	高山 辰雄	聖家族 V	1976(昭和51)	36.3×29.3	エッチング	
6	高山 辰雄	聖家族 VI	1976(昭和51)	35.3×28.8	エッチング	
7	高山 辰雄	聖家族 VII	1976(昭和51)	32.1×23.3	エッチング	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
8	高山 辰雄	聖家族 VIII	1976 (昭和51)	36.3×29.8	エッチング	
9	高山 辰雄	聖家族 IX	1976 (昭和51)	32.7×23.8	エッチング	
10	高山 辰雄	堇とコップ	1956 (昭和31)	42.0×59.5	紙本着色	
11	高山 辰雄	静物	1950 (昭和25) 頃	48.5×56.5	紙本着色	
12	高山 辰雄	静物	1955 (昭和30)	54.2×72.6	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・文人画 富春館記念室

テーマ 平野五岳を中心に (前期)

1	田能村竹田	盆卉図	1833 (天保4)	29.3×30.8	紙本淡彩	重文
2	田能村竹田	君子延年図	1830~35	26.4×18.3	紙本淡彩	〃
3	平野五岳	静湖柳村図	1843 (天保14)	131.4×36.4	絹本墨画淡彩	
4	平野五岳	青山緑樹図	1850 (嘉永3)	144.7×49.4	絹本墨画淡彩	
5	平野五岳	浅絳山水図	1861 (文久1)	157.5×57.3	絹本墨画淡彩	
6	平野五岳	群鶴群亀図	1862 (文久2)	131.9×33.9	絹本墨画着色	
7	平野五岳	秋景山水図	1863 (文久3)	109.0×38.0	紙本墨画淡彩	
8	平野五岳	松林山水図	1868 (明治元)	149.0×66.0	絹本墨画	
9	平野五岳	松蔭吟艇図	1870 (明治3)	150.0×50.7	絹本墨画	
10	平野五岳	柳陰帰漁図	1871 (明治4) 頃	147.0×51.5	絹本墨画淡彩	
11	平野五岳	松林山水図	1874 (明治7)	157.0×51.5	絹本墨画淡彩	
12	平野五岳	月下孤蓬図	1876 (明治9)	142.8×41.9	絹本墨画淡彩	
13	平野五岳	書画冊	1876 (明治9)	各22.6×22.8	絹本墨画、墨書	
14	平野五岳	花卉図貼交屏風	1879 (明治12) 他	各147.5×52.0	絹本墨画淡彩	
15	平野五岳	前赤壁書画 (対幅)	1885 (明治18)	各217.5×48.0	絹本墨画淡彩	
16	平野五岳	雪中山水図	1888 (明治21)	174.5×67.0	紙本墨画	
17	平野五岳	老松図	1892 (明治25)	151.8×52.7	絹本墨画	

テーマ 田近竹邨を中心に (後期)

1	田近竹邨	観艦式	1895 (明治28)	141.5×53.4	紙本墨画淡彩	
2	田近竹邨	松林飛鶴図	1896 (明治29)	128.0×42.5	絹本淡彩	
3	田近竹邨	題石図・樹下一夢図屏風 (一双)	1897 (明治30)	各173.5×185.6	紙本墨画淡彩	
4	田近竹邨	春秋山水図屏風 (一双)	1912 (大正元)	各179.2×364.8	紙本墨画淡彩	
5	田近竹邨	桐陰遺興図	1917 (大正6)	170.0×52.0	絹本着色	
6	田能村竹田	秋溪趁約図	1834 (天保5)	136.0×60.0	紙本淡彩	重文
7	淵野桂仙	蝦蟇仙人図	1858 (安政5)	136.3×135.9	紙本墨画着色	
8	帆足杏雨	雪溪吟鞭図	1837 (天保8) 頃	143.0×51.7	紙本墨画淡彩	
9	田能村直入	四季山水図	1884 (明治17)	196.5×84.8	絹本着色	
10	平野古桑	雨後観瀑図	制作不詳	173.3×52.2	絹本着色	
11	平野古桑	青山紅樹図	制作不詳	173.0×52.3	絹本着色	

■常設展示室3 近代・現代の洋画・版画

テーマ 戦後美術の断面－様々な素材－

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	吉原治良	作品 B	1957(昭和32)	160×130	油彩、キャンバス	
2	白髪一雄	地勇星病尉遅	1961(昭和36)	130×195	油彩、キャンバス	
3	岡崎乾二郎	食べものに関することとなると、目の前にないかぎり「あれ」やら「これ」やら、口に出すこともできません。手で掴めるものだったらやり直しも利くでしょう。まして自分の歯で噛むことができたなら差し挟める言葉のひとつも出るはずがありません。「ほんまかいな。俺はあやしいと思うな」。いや迷信を捨てるためにも直に口で触れ歯で信じてみたいのです。風が吹いて葉が揺れるように顔の筋肉がたしかに動くんだからね。	2002(平成14)	180×130×5	油彩、キャンバス	
4	岡崎乾二郎	食べものに注文つけるように、見えるものには文句を言わせてもらってます。まだ泳いでいる魚にだって「これは新しすぎ、しまりすぎている。」と注文しています。「あんたの眼に水かけて、洗うたら良くなるのちやう？」いやいや生ものであっても、眼には柔らかすぎるくらいがちょうどいい。決して歯のせいではなく、わたしは自分の眼玉に願をかけている。あんたはそれで良うても、泳いでいる魚はそれで笑われます。	2002(平成14)	180×130×5	油彩、キャンバス	
5	合田習一	WORK´86-10	1986(昭和61)	182×27×24	木、石、銅線	
6	合田習一	WORK´88-9(木偶10)	1988(昭和63)	43×43×48	木	
7	趙 徳浩	Reality - 9402A	1994(平成6)	60×90×10	手漉き紙、竹	
8	趙 徳浩	Reality - 9402B	1994(平成6)	60×90×10	手漉き紙、竹	
9	趙 徳浩	Reality - 9403A	1994(平成6)	90×180	手漉き紙、竹	
10	趙 徳浩	Reality - 9403B	1994(平成6)	90×180	手漉き紙、竹	
11	趙 徳浩	Reality - 9403C	1994(平成6)	90×180	手漉き紙、竹	
12	石橋 泰幸	浸透・物性	1979(昭和54)	76×56	アクリル・布	
13	大久保英治	△(Forest)	1989(平成元)	106×70	流木、和紙	
14	大久保英治	□(Forest)	1989(平成元)	98×46	流木、和紙	
15	升沢金平	ニューヨークにて	1963(昭和38)	95×122	コラージュ、板	
16	田中信太郎	ピアノシモ	1979(昭和54)	33.4×33.4	油彩、キャンバス	
17	原口典之	UNTITLED AA-04	1981(昭和56)	122.5×122.5×11	ポリウレタン他	
18	山本富章	“円筒状に－12の月”	2003(平成15)	φ51×H61cm他	木・アクリル	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 祥雲齋・束ね編みの技法

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	飯塚琅玕齋	花籃 壽	1931(昭和06)	高21 径34	竹	大分県立芸術会館蔵
2	生野祥雲齋	木瓜形菱花紋透盛籃	1942(昭和17)	高17 50×46	竹・籐	〃
3	生野祥雲齋	時代竹編盛籃 心華賦	1943(昭和18)	高17 径47	竹・籐	〃
4	生野祥雲齋	輪花永芳盛籃	1944(昭和19)	高14 径39	竹・籐	
5	生野祥雲齋	秋苑	1946(昭和21)	高31 径34	竹・籐	
6	生野祥雲齋	櫛目編華籃 悠然	1946(昭和21)	高41 径20	竹・籐	大分県立芸術会館蔵
7	生野祥雲齋	華籃	制作年不詳	高26.6 径30	竹・籐	個人蔵
8	木村 新	盛籃 巨鉢	1953(昭和28)	高23 径40.8	竹・籐	
9	山口 明	花車	2002(平成14)	高32 径53	竹・籐	

※展示替(No.2、3は前期：9月27日～11月13日、No.1、6は後期：11月15日～12月28日)

3.2.3. 第3期常設展

平成18年1月5日（木）～4月23日（日）

（常設展示室2のみ 前期：2月19日（日）まで 。後期：2月21日（火）から）

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 福田平八郎を中心に

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	福田平八郎	冬日	1945(昭和20)頃	53.5×39.5	紙本着色	
2	福田平八郎	紅葉と虹	1947(昭和22)	88.0×61.0	絹本着色	
3	福田平八郎 金島桂華	無花果と紅葉	不詳	34.0×57.5	紙本着色	個人蔵
4	福田平八郎	桃	不詳	29.6×37.5	パステル	〃
5	福田平八郎	猫柳	不詳	18.5×14.0	紙本墨画	〃
6	福田平八郎	桔梗	不詳	26.0×23.5	紙本着色	〃
7	福田平八郎	双鶴	不詳	26.0×23.0	紙本着色	〃
8	福田平八郎	曙の富士	不詳	26.5×23.8	紙本着色	〃
9	福田平八郎	水仙	不詳	31.0×24.5	紙本着色	〃
10	福田平八郎	紋鷄	不詳	30.0×23.0	紙本着色	〃
11	福田平八郎	蜜柑	不詳	26.5×23.5	紙本着色	〃
12	福田平八郎	久住高原	不詳	11.0×20.0	紙本墨画	〃
13	福田平八郎	羊	不詳	25.0×22.0	紙本墨画	〃
14	福田平八郎	風船	不詳	25.5×21.0	紙本墨画	〃
15	福田平八郎	黄鵠鴿	不詳	29.5×42.3	紙本着色	〃
16	福田平八郎	羅漢寺	不詳	134.0×54.0	紙本着色	
17	福田平八郎	蜜柑	1956(昭和31)頃	60.6×45.5	紙本着色	
18	福田平八郎	かぶら	不詳	38.5×19.5	紙本着色	個人蔵
19	福田平八郎	椿と鳥	1936(昭和9)	27.0×69.0	紙本着色	〃
20	福田平八郎	暖冬	不詳	45.5×66.5	絹本着色	〃
21	福田平八郎	白梅眼白	1940(昭和15)頃	45.0×65.0	紙本着色	
22	福田平八郎	松茸	不詳	20.5×31.0	紙本着色	個人蔵
23	福田平八郎	白梅	不詳	26.3×23.4	紙本着色	
24	福田平八郎	竹	不詳	22.0×51.5	紙本着色	個人蔵
25	福田平八郎	ビール瓶とコップ	1920(大正9)頃	39.0×29.5	紙本淡彩	
26	福田平八郎	鯉(下絵)	不詳	52.5×76.5	紙、鉛筆	個人蔵
27	八田 哲	早春(大野城)	1990(平成2)	53.0×72.8	紙本着色	
28	上村 淳之	月の水辺	1990(平成2)	146.0×227.0	紙本着色	
29	上村 淳之	風渡る	1992(平成4)	160.0×228.0	紙本着色	
30	正井 和行	雨後	1997(平成9)	210.0×140.0	紙本着色	
31	福田平八郎	池辺の家鴨	1916(大正5)	168.0×78.0	紙本着色	
32	福田平八郎	池辺游魚	1923(大正12)頃	140.5×41.5	絹本着色	
33	福田平八郎	光雪	1933(昭和8)頃	134.5×42.0	紙本着色	
34	福田平八郎	雉子	1938(昭和13)	185.0×42.5	絹本着色	
35	福田平八郎	鯉	1939(昭和14)	43.2×87.2	絹本着色	
36	福田平八郎	鮎	1940(昭和15)	140.5×36.0	紙本着色	
37	福田平八郎	鳳仙花	1947(昭和22)	30.5×43.0	紙本着色	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
38	福田平八郎	飛魚	1926 (昭和元) 頃	44.5×57.7	絹本着色金砂子	
39	福田平八郎	水蜜桃	1950 (昭和25)	30.7×42.0	紙本着色	
40	福田平八郎	菓子	1948 (昭和23) 頃	27.0×24.0	紙本着色	
41	首藤 雨郊	山水図 (三幅対)	1933 (昭和8)	画120.0×25.3 書120.0×21.5	紙本墨画	
42	高倉 観崖	遠山秋雨	1927 (昭和2)	145.0×51.0	絹本着色	
43	鈴木 忠実	霧を行く	2002 (平成14)	131.0×324.0	紙本着色	
44	宮崎 喜恵	あだし野	1990 (平成2)	162.1×130.3	紙本着色	
45	釘宮 對岩	法隆寺	1984 (昭和59)	83.0×62.0	紙本墨画	
46	釘宮 對岩	杉林と塔	1983 (昭和58)	45.0×53.0	紙本墨画	
47	首藤 雨郊	薩摩街道の冬	1921 (大正10)	167.8×376.0	紙本着色	
48	南 聡	大潮	1996 (平成8)	180.0×360.0	紙本着色	
49	首藤 詔子	絵巻に偲ぶ	1985 (昭和60)	162.1×130.3	紙本着色	

【高山辰雄記念室】

1	高山 辰雄	立春	1937 (昭和12)	42.8×56.8	絹本着色	
2	高山 辰雄	筍	1947 (昭和22)	44.1×51.5	紙本着色	
3	高山 辰雄	由紀子立像	1945 (昭和20)	79.4×52.0	紙本着色	
4	高山 辰雄	壺	1943 (昭和18)	129.9×75.9	紙本着色	
5	高山 辰雄	赤い服の女	1950 (昭和25)	122.2×75.0	絹本着色	
6	高山 辰雄	湯泉	1934 (昭和9)	244.0×187.0	絹本着色	
7	高山 辰雄	黒い服の少女	1948 (昭和23) 頃	57.5×53.5	絹本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画 (文人画) 富春館記念室

テーマ 田能村竹田と富春館 (前期)

1	田能村竹田	花卉図 (6幅対の内白梅図)	1808 (文化5)	115.7×38.8	紙本墨画淡彩	重文
2	田能村竹田	梅花書屋図及題詩	1824 (文政7)	各112.5×30.5	紙本墨画	〃
3	田能村竹田	暗香疎影図	1831 (天保2)	136.0×57.0	紙本淡彩	〃
4	田能村竹田	五言古詩	1831 (天保2)	98.7×51.3	紙本墨書	〃
5	狩野常信	高士困基喫茶図屏風	江戸時代前期	各隻171.5×379.4	紙本墨画淡彩	
6	帆足杏雨	月下竹梅図襖	江戸時代後期~明治時代初期	各図173.5×72.3	紙本墨画金砂子	
7	帆足杏雨	巴峽蜀舩図	1837 (天保8) 頃	143.1×51.7	紙本墨画淡彩	
8	帆足杏雨	秋水野航図	1837 (天保8) 頃	152.2×52.0	紙本墨画淡彩	
9	帆足杏雨	梅花山茶花群雀図	江戸時代後期	147.2×57.1	紙本墨画淡彩	
10	帆足杏雨	粉團鳳仙戯鳥図	江戸時代後期	147.2×57.1	紙本墨画淡彩	
11	浦上春琴	花鳥図	1829 (文政12)	130.9×37.2	絹本着色	
12	中林竹洞	烟江疊嶂図	1829 (文政12)	109.0×38.0	絹本墨画淡彩	

テーマ 文人の書 (後期)

1	田能村竹田	四季花鳥図 (4幅の内冬図)	1809 (文化6)	130.2×60.7	絹本着色	重文
2	田能村竹田	填詞	文政年間頃	129.0×52.5	紙本墨書	〃
3	田能村竹田	書簡 (享和元年7月付伊藤鏡河宛)	1801 (享和元)	15.4×28.0cm	紙本墨書	
4	田能村竹田他	対聯 {自筆及雲華筆}	1832 (天保3)	各111.7×13.0	紙本墨書	重文

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
5	田能村竹田	書簡 (文政12年6月1日付 田能村太一宛)	1829 (文政12)	18.0×7.8他	紙本墨書	
6	田能村竹田	書簡 (天保6年8月12日付 田能村如仙宛)	1835 (天保6)	22.0×22.3	紙本墨書	
7	平野五岳	花卉図貼交屏風	1879 (明治12) 他	各147.5×52.0	紙本墨画淡彩	
8	平野五岳	田原坂詠詩	1877 (明治10)	168.7×44.7	紙本墨書	
9	平野五岳	贈某先生詠詩	1877 (明治10) 頃	146.8×87.9	紙本墨書	
10	平野五岳	楠公廟下作詩	1878 (明治11) 頃	135.0×62.0	紙本墨書	
11	平野五岳	熊本城下作詩	1888 (明治21) 頃	167.9×64.1	紙本墨書	
12	平野五岳	明智左馬介湖水渡詩書	1888 (明治21) 頃	152.0×51.5	紙本墨書	
13	頼山陽	頼山陽墨蹟	1829 (文政12)	130.9×37.2	絹本墨書	
14	篠崎小竹	篠崎小竹咏史	江戸時代後期	143.9×57.3	紙本墨書	

■常設展示室3 近・現代の洋画・版画

テーマ 昭和前期の洋画－江藤純平を中心に－

1	江藤純平	花	1929-30 (昭和4-5) 頃	45.0×45.0	油彩、キャンバス	
2	江藤純平	花とレモン	1929-30 (昭和4-5) 頃	45.0×38.0	油彩、キャンバス	
3	江藤純平	雪	1932 (昭和7) 頃	38.0×45.0	油彩、キャンバス	
4	江藤純平	椿	1931 (昭和6)	73.0×91.0	油彩、キャンバス	
5	江藤純平	斜陽	1941 (昭和16)	73.0×91.0	油彩、キャンバス	
6	江藤純平	陰山先生	1959 (昭和34) 頃	116.7×91.0	油彩、キャンバス	
7	江藤純平	風景 (入り江)	1937 (昭和12) 頃	33.0×45.5	油彩、キャンバス	
8	江藤純平	風景 (冬)	1937 (昭和12) 頃	38.0×45.0	油彩、キャンバス	
9	江藤純平	山百合	1940 (昭和15) 頃	53.0×45.5	油彩、キャンバス	
10	江藤純平	秋果図	1949 (昭和24) 頃	36.0×56.0	油彩、キャンバス	
11	江藤純平	飯田高原の秋	1959 (昭和34) 頃	73×92	油彩、キャンバス	寄託品
12	片多徳郎	歌者	1928 (昭和3)	45.0×45.0	油彩、キャンバス	
13	権藤種男	瓦礫の街	1945 (昭和20) 頃	28.5×37.5	油彩、キャンバス	
14	佐藤敬	南京光華門	1941 (昭和16)	61.0×73.0	油彩、キャンバス	
15	宇治山哲平	原生林	1958 (昭和33)	65.3×38.0	油彩、キャンバス	
16	糸園和三郎	作品	1935 (昭和10)	45.5×53.0	油彩、キャンバス	
17	里見勝蔵	観音像	1943 (昭和18)	112.1×162.1	油彩、キャンバス	
18	河原 温	COME ON MY HOUSE	1955 (昭和30)	42.5×64.0	鉛筆、紙	
19	池田龍雄	路地	1954 (昭和29)	24.7×30.8	油彩、紙	
20	池田龍雄	不明	1955 (昭和30)	37.5×26.7	ペン画、紙	
21	野見山暁治	静物	1949 (昭和24)	60.5×80.0	油彩・キャンバス	
22	佐藤溪	パミール高原にて	1952 (昭和27)	44.0×51.7	油彩、板	
23	佐藤溪	茶館にて	1952 (昭和27)	42.3×41.4	油彩、板	
24	佐藤溪	十文字原 (別府)	1952 (昭和27)	18.0×25.0	水彩、紙	
25	佐藤溪	白い裸婦C	1955 (昭和30) 頃	41.5×29.3	油彩、紙	
26	佐藤溪	東京にて	1957 (昭和32) 頃	17.8×25.5	鉛筆、水彩、紙	
27	佐藤溪	街に流れる川	1957 (昭和32) 頃	51.4×71.6	墨、紙	
28	佐藤溪	道の向こうの教会	1954 (昭和29)	22.7×30.9	油彩、紙	

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
29	菅久	作品A (黒い花)	1953 (昭和28)	60.6×45.5	油彩、キャンバス	
30	廣瀬通秀	みのりA	1949 (昭和24)	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
31	菅玲子	行水	1955 (昭和30)	80.3×60.6	油彩、キャンバス	
32	神田千里	風吹く日	1954 (昭和29)	90.9×65.2	油彩、キャンバス	
33	江藤明	水門	1954 (昭和29)	91.0×117.0	油彩、キャンバス	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 受け継がれる祥雲斎の心情-田辺信幸-

1	生野祥雲斎	竹干菓子盆	1960 (昭和35) 頃	3.7×15.3×13.2	竹	
2	此君亭工房	四極皿	昭和後期	1.8×13×10.8	竹	
3	生野祥雲斎	くいな笛	1960 (昭和35)	高42.8 径7	竹	
4	生野祥雲斎	重扇吊華籃	1962 (昭和37)	高30.8 32×15	竹・籐	
5	生野祥雲斎	怒涛	1960 (昭和35)	53×53×73.5	竹・籐	
6	田辺信幸	篠竹つぶし花籠「蹲」	2001 (平成13)	高34 径50	竹	
7	田辺信幸	輪弧盛籠「ひまわり」	1965 (昭和40)	高11 径45.6	竹・籐	個人蔵
8	田辺信幸	柱掛け花籠「かたつむり」	2000 (平成12)	高20 24×13	竹・籐	〃
9	田辺信幸	櫛目組竹飾籠「宴」	2003 (平成15)	高43 径36.6	竹・籐	
10	田辺信幸	櫛目花籠「鼓胴」	2001 (平成13)	高23 径30	竹・籐	個人蔵
11	田辺信幸	三ツ組三峰花籠	2005 (平成17)	高25 径42	竹・籐	〃

3.2.4. 常時展示作品

4つの常設展示室のほか、館内・館外の各所に彫刻などの作品を常時展示した。

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	場所
1	熊井恭子	風の道・水の道	2001(平成13)	1200×660×560	ステンレス・スチール線	常設棟1・2F
2	田中信太郎	風の吹く場所	1992-93 (平成4-5)	193×361×16	強化プラスチック ティック	常設棟1F
3	今井俊満	鯉のぼり-大分-	1987(昭和62)	200 × 1000	アクリル・キャンバス	常設展室3
4	朝倉響子	Ashley (アシュリー)	2001(平成13)	H163×70×46	ブロンズ	エントランス ホール
5	村井進吾	FORM-IV	1992(平成4)	153×160×159	黒御影石	1F中庭
6	風倉 匠	陰陽学	2000(平成12)	120×250×120	アルミ合金	企画棟屋上
7	剣持和夫	宇奈月	1993(平成5)	30×30×800	ブロンズ	企画棟屋外
8	井上一朗	L-MOTION	2000(平成12)	303×270×210	アルミニウム	企画棟屋外
9	安藤 泉	遊星散歩	1999(平成11)	660×665×240	純銅板、鍛金	芝生広場
10	原口典之	重力	2003(平成15)	H79×286×800	厚鋼板・コンクリート	芝生広場
11	佐脇健一	BOLT DOG	2000(平成12)	大73×118×20 他	鉄	チャイルドハウス 周辺
12	青木野枝	荒玉	2002(平成14)	430×390×1740	鉄	散策路

3.3. サマー企画

3.3.1. アートワンダーランド 2005<「宝物」を見つけよう>

概要 ‘であった、みつけた、わかったよ、をキャッチフレーズに所蔵品の中から特に子どもたちに見せたい作品を選出し、解説パネル等でわかりやすく紹介した。さらに、自分の好きな作品を見つける「宝物」探しをしながら現代日本画、洋画、豊後南画、現代美術といった様々なジャンルの作品を体験活動（へんしーん、空へはばたこう、つくってみよう、青い小箱等）も取り入れて、鑑賞活動の深化を目指した。

会期 平成 17 年 7 月 6 日(水)～9 月 25 日(日)

後援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 165 点(108 点の組作品を含む)

観覧者数 10,925 人

観覧料 一般 300 (250) 円／高大生 200 (150) 円、中学生以下無料
※ () 内は 20 名以上の団体料金

関連行事 ■講演会

「へんしーん！」サングラスと鏡で、大統領に変身する。

「空へはばたこう」自由に鳥を描く。(会期中会場内空の壁紙に掲示)

参加者 671 人

「ぬりえ」チラシ裏面印刷のぬりえを会場に展示。

参加者 1,060 人

「つくってみよう」宇治山作品を参考にカラーマグネットで作成。

「青い小箱」薄闇の中をペンライトで作品を照らしながら自由鑑賞。

「みんなの宝物」鑑賞後、用紙に自分の見つけた宝物を記入する。

(会場内に掲示)

参加者 820 人

■夏休み子ども講座「マトリョーシカ(入れ子人形)をつくろう」

日時 7月28日(木)、29日(金)、8月18日(木)、19日(金)、23日(火)、
24日(水) 10時30分～15時

講師 渡辺恭英氏(画家)、学芸課職員、美術館ボランティアこもれ美
参加者 286人

■夏休み子ども講座「オリジナル絵本をつくろう」

日時 8月3日(水)～5日(金) 11時～15時30分

講師 大分大学教育福祉科学部 廣瀬剛講師 **参加者** 102人

■ハイビジョン紙芝居と親子美術教室

日時 7月9日(土)、23日(土)、8月20日(土)、27日(土)、9月10日(土)
13時15分～15時

講師 学芸課職員、美術館ボランティアこもれ美 **参加者**252人

■大分県造形教育研究会 中学部夏季研究会

日 時8月24日(水) 10時～16時

内 容 大分県造形教育研究会中学部の研究発表会。途中で展覧会鑑賞実施

参加者 50人

印刷物 ・チラシA4版・ワークシートA5版

関連記事 「宝物探しにおいで」『大分合同新聞』7月8日

「子どもたち寄っといで」『大分合同新聞』7月11日

「触れて探してアートな驚き 仕掛け満載の美術館企画」『読売新聞(大分)』7月28日

(担当 大野)

常設展示室 1

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	森田 やすこ	望	1991	125.0×60.0×80.0	ブロンズ
2	滝 純一	風景－漂流	1994	194.0×259.0	油彩、キャンバス
3	郭 徳俊	フォードと郭	1974	150.0×105.0	写真、パネル
4	郭 徳俊	カーターと郭	1977	150.0×105.0	写真、パネル
5	郭 徳俊	レーガンと郭	1981	150.0×105.0	写真、パネル
6	郭 徳俊	レーガンと郭Ⅱ	1985	150.0×105.0	写真、パネル
7	郭 徳俊	ブッシュと郭	1989	150.0×105.0	写真、パネル
8	郭 徳俊	クリントンと郭	1993	150.0×105.0	写真、パネル
9	郭 徳俊	クリントンと郭Ⅱ	1997	150.0×105.0	写真、パネル
10	郭 徳俊	ブッシュ2001と郭	2002	150.0×105.0	写真、パネル
11	郭 徳俊	残骸の光明	1968	162.0×131.0	石膏、胡粉、樹脂他
12	佐藤 敬	三人の家族	1940	145.1×112.1	油彩、キャンバス
13	佐藤 敬	水災に就いて	1939	197.0×268.0	油彩、キャンバス
14	佐藤 敬	暁	1940	130.5×193.6	油彩、キャンバス
15	佐藤 敬	南京光華門	1941	61.0×73.0	油彩、キャンバス
16	佐藤 敬	ピアノと子供	1951	130.0×162.0	油彩、キャンバス
17	佐藤 敬	LE DANS	1950	218.2×290.9	油彩、キャンバス
18	佐藤 敬	凝結波	1966	195.0×130.0	油彩、キャンバス
19	赤木 範陸	ある女の変容	1986	183.1×182.4	ワックステンペラ、板に白亜地
20	赤木 範陸	転生するプーポラのいる風景	1988	156.0×183.5	ワックステンペラ、板、金箔
21	赤木 範陸	蛾のいる風景	1989	157.0×46.0	ワックステンペラ、板、金箔
22	赤木 範陸	崇拜－兆	1989	180.0×34.2	卵黄テンペラ、板、金箔
23	福田 平八郎	池辺遊魚	1923頃	140.5×41.5	絹本着色
24	高山 辰雄	緑の野に	1952	59.1×71.3	絹本着色
25	高山 辰雄	猫と玉葱	1957	55.6×77.1	紙本着色

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
26	林 功	江南光風	1991	各166.8×184.0	絹本着色
27	郷倉 和子	夕焼けとうさぎ	1980	185.0×216.0	紙本着色
28	釘宮 對宕	雪原の王者	1985	247.0×117.0	紙本墨画
29	市野 龍起	翔ぶ日	1995	225.0×160.0	紙本着色
30	石踊 達哉	林檎花	1994	130.3×162.1	紙本着色
31	上村 淳之	風渡る	1992	160.0×228.0	紙本着色
32	倉島 重友	野の調	1987	182.0×227.0	紙本着色

常設展示室 2

33	有元 利夫	遊戯	1977	89.4×145.5	油彩、キャンバス
34	糸園 和三郎	車椅子の老婦	1982	140.0×130.0	油彩、キャンバス
35	赤木 範陸	3つの薔薇のためのコンポジション	1994	140.0×55.0	エンコステック、生キャンバス
36	赤木 範陸	5つの林檎の静物	1994	140.0×70.0	エンコステック、生キャンバス
37	野見山 暁治	容	1970	130.5×194.0	油彩、キャンバス
38	千住 博	ウォーターフォール	1996	194.2×130.4	紙本着色
39	伊藤 深游木	流れる	1991	220.0×161.0	紙本着色
40	土屋 禮一	沼	1991	175.0×220.0	紙本着色
41	香月 泰男	雲	1972	91.0×60.7	油彩、キャンバス
42	釘宮 對宕	日月易流	1983	95.0×33.0	紙本墨画
43	生野 祥雲斎	怒涛	1960	53.0×53.0×73.5	竹、籐
44	松村 公嗣	ほたる	1993	166.0×332.0	紙本着色

常設展示室 3

45	宇治山 哲平	静物 石・茎・ローソク	1954頃	44.3×64.0	油彩、キャンバス
46	宇治山 哲平	原生林	1956	65.3×38.0	油彩、キャンバス
47	宇治山 哲平	阿吽	1972	100.0×100.0	油彩、キャンバス
48	宇治山 哲平	No. 309 朝陽	1973	89.5×59.5	油彩、キャンバス
49	宇治山 哲平	精 No. 376	1975	110.8×144.3	油彩、キャンバス
50	今井 俊満	鯉のぼり-大分-	1987	200.0×1000	アクリル、キャンバス
51~158	風倉 匠	Kles`s324	1972-2002	11.0×9.0×5.1	水性絵具、木他 (108点セット)

常設展示室 4

159	田能村 竹田	花卉図 (石榴)	1833	115.7×38.8	紙本墨画淡彩
160	田能村 竹田	柳陰捕魚図	1828頃	118.5×42.5	絹本着色
161	田能村 竹田	松鶴図	1828	各図51.7×44.6	絹本着色
162	帆足 杏雨	秋水野航図	1837頃	155.2×52.0	紙本墨画淡彩
163	田能村 竹田	君子延年図	1830-35	26.4×18.3	紙本淡彩

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
164	田能村 竹田	盆卉図	1833	29.3 × 30.8	紙本淡彩
165	生野 祥雲斎	乱菊	1964	133.5 × 285.0 × 50.0	竹、籐

3.4. 収蔵品小企画

3.4.1. ゴヤ・銅版画「戦争の惨禍」

—ナポレオンの時代におけるスペイン民衆の叫び

概要 本展では、ゴヤの代表的な連続銅版画「戦争の惨禍」80点を一堂に展覧した。

会期 平成17年4月19日(火)～6月26日(日)

会場 企画展示室2

出品点数 80点

観覧者数 3,530人

観覧料 一般300(250)円／高大生200(150)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金 ※上記料金で常設展も観覧可

印刷物 ・ポスターB2判・チラシA4判

(担当 岩尾)

No.	作品名	寸法(cm)	素材・技法	備考
1～80	戦争の惨禍 1～80	17.5×22.0他	エッチング、ドライポイント他	80点セット

3.5. 合併記念展

3.5.1. <合併記念> 大分市美術館所蔵品展

- 概要 本展は、平成17年1月、大分市・佐賀関町・野津原町の合併が実現したことを記念して開催したもの。文化勲章受章者である福田平八郎、高山辰雄はじめ、パリ画壇で活躍し、注目を集めた佐藤敬、ネオ・ダダのリーダー的存在であった吉村益信といった大分ゆかりの作家の代表作を含む館所蔵の優品を、佐賀関・野津原の両地域の会場で展示した。
- 会期 <佐賀関会場>平成17年11月9日(水)～13日(日)
<野津原会場>平成17年11月23日(水)～27日(日)
- 会場 <佐賀関会場>佐賀関公民館(大分市関2178番地)
<野津原会場>野津原支所(大分市野津原800番地)
- 主催 大分市美術館
- 後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分
- 出品点数 <佐賀関会場>30点、<野津原会場>25点
- 観覧者数 2,047人
<佐賀関会場>928人
<野津原会場>1,119人(内磯崎模型展示場685人)
- 観覧料 無料
- 印刷物 ・チラシA4判
- 関連記事 「郷土の画家の作品を知って」『大分合同新聞』11月11日

(担当 岡村 岩尾)

3.6. 大分市美術展覧会

3.6.1. 第40回大分市美術展覧会

概 要 多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざして、美術各分野における、発表と鑑賞の場として毎年開催している。

会 期 平成18年2月18日(土)～2月25日(土) 9時～18時(初日のみ10時～)

授 賞 式 2月18日(土) 9時30分～10時

休 館 日 2月20日(月)

会 場 アートプラザ

主 催 大分市、大分市教育委員会、大分市美術展覧会実行委員会

後 援 大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、大分市社会教育関係団体連絡協議会、アート・ブラザー、国際ソロプチミスト大分、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

応募点数 338点

入賞・入選点数 313点

観覧者数 3,250人

観覧料 無料

印刷物 ・リーフレットA4版